

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

普代村教育委員会「学校支援活動事業」の成果と課題(岩手県普代村)

取組事業

学校支援地域本部事業

活動実施場所

普代村立普代小学校
普代村立普代中学校

取組概要

【学習環境支援事業】

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の委託を受けて、小中学生の学習環境の改善のため、学校と家庭、地域が連携して学習補助や登下校の見守りなどを実施している。

○内容

村内の小学校と中学校に各1名のコーディネーターを配置し、学校からの要望等に応じて、地域ボランティアを募集している。ミシン指導や読み聞かせ等の学習支援、登下校の見守りなどの安全支援、草刈りなどの環境支援等、年間を通して行っている。



地域ボランティアの方に決め細やかな支援をいただく様子



読書ボランティアによる読み聞かせ。子どもたちが楽しみにしている。

事業成果

【学習環境支援事業】

学校支援活動においては、地域からの支援を行うことで、よりきめ細かい学習環境が提供できている。例えば、ミシン指導においては、地域の方が複数名参加することで、児童生徒一人ひとりの進捗やつまずきに応じて支援がなされている。

他にも、登下校時の事故防止のための見守り活動、学校行事や部活動の円滑な運営のための草刈り作業、環境整備など、児童生徒へのよりよい学習環境の提供が図られている。

(学習環境支援事業 登録者数等数値 11月末時点)

- ・ ボランティア登録者数 68名
- ・ 実施回数 小学校 83回 中学校 39回
- ・ 延べ参加者数 小学校 253人 中学校 71人

課題や今後の取組

(課題)

人口減少と少子高齢化によりコーディネーターとボランティアの人材確保が課題である。

また、ボランティアに過度な負担をかけないように、ローテーションや活動内容を考える等の配慮を行い、継続してボランティアに参加していただけるよう運営したい。